

令和7年3月18日（火）

令和6年度 第3回陸別町学校運営協議会 学校説明資料



陸別町立陸別小学校・陸別中学校 グランドデザイン

令和7年度共通目標

誰もが通いたい学校、働きたい学校

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

☆新しい時代に必要な資質・能力

- ・個別最適な学びと協働的な学び
- ・小中一貫した教育課程の編成・実施
- ・PDCA サイクルの確立
- ・個々の児童生徒に応じた支援

☆豊かな人間性

- ・自己有用感を高める指導の充実
- ・自立した学習者の育成
- ・発達支持的生徒指導の推進
- ・読書環境の整備と本に親しむ指導の充実

☆健康でたくましい体

- ・ヘルスリテラシーを高める指導
- ・新体力テストの活用
- ・学校給食を活用した食育の推進

学びの機会を保障し
質を高める環境の確立

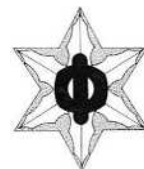
☆安心して過ごせる居場所

- ・不登校の未然防止
- ・いじめの問題への組織的対応
- ・危機回避の指導の充実
- ・アウトリーチ型相談体制の整備

☆働きがいのある職場

- ・心理的安全性の確保
- ・ICTを活用した校務効率化の推進
- ・服務規律保持確認日の設定
- ・教員の主体的な学びの促進

陸別の子は
陸別で育てる
～保小中連携の
さらなる推進



家庭・地域と歩む
持続可能な教育の実現

☆家庭や地域との連携

- ・タブレットを活用した家庭学習
- ・家庭・地域との情報共有
- ・学校経営状況の公表
- ・CSと地域学校協働活動の推進

☆未来の陸別を担う人材の育成

- ・「りくべつ学」の推進
- ・地域諸行事への主体的な参加
- ・キャリア教育の充実

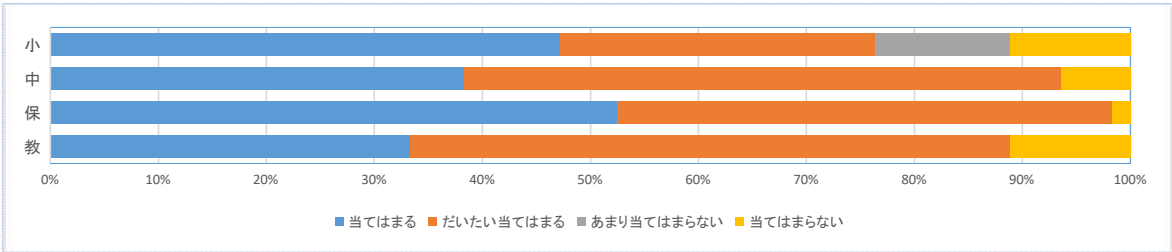
令和6年度 陸別小学校・陸別中学校 2学期の学校評価のまとめ

令和7年3月18日

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

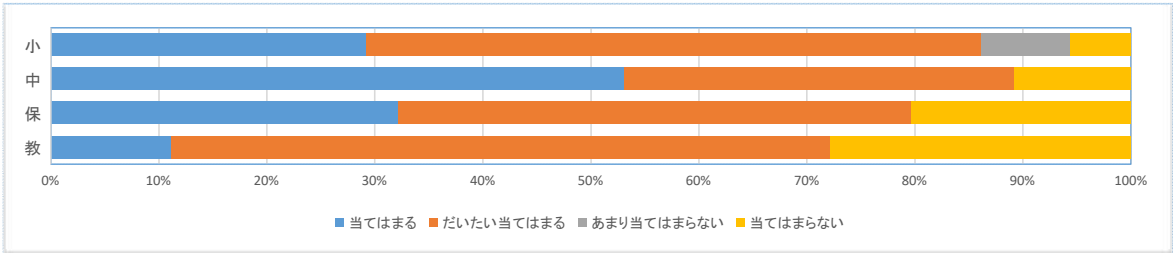
2. 自己肯定感【豊かな人間性】

	質 問 項 目	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
小	べんきょうやうんどう、ならいごとなどで、じまんでできるとくいなことがある。	47.2 (35.8)	29.2 (34.3)	12.5 (20.9)	11.1 (9.0)
	自分のいいところを、いくつか言える。				
	自分にはいいところがあると思う。				
中	自分にはいいところや得意なところがあると思う。	38.3 (25.0)	55.3 (41.7)	6.4 (33.3)	
保	(小) お子様には、いいところや得意なところがあると思う。 (中) お子様は自己肯定感を十分にもっている。	52.5 (38.3)	45.8 (45.0)	1.7 (16.7)	
教	(小) 子どもたちはそれぞれ、自分のいいところや得意なことをもっていると思う。 (中) 子どもたちは、自己肯定感を十分にもっている。	33.3 (19.0)	55.6 (62.0)	11.1 (19.0)	



4. ヘルスリテラシー【健康でたくましい体】

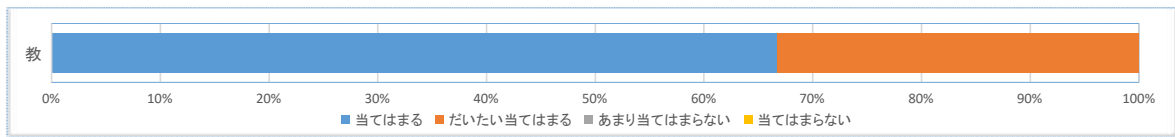
	質 問 項 目	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
小	はやねはやおき、すききらいにきをつけている。	29.2 (40.3)	56.9 (43.2)	8.3 (9.0)	5.6 (7.5)
	早ね早起きや好ききらいに気をつけて生活している。				
	食事やすいみんな、生活のリズムに気をつけて生活している。				
中	食事や睡眠など、健康に気をつけて生活している。	53.2 (37.5)	36.2 (41.7)	10.8 (20.8)	
保	(小・中) お子様は、食事や睡眠など、自ら進んで健康に気をつけて生活している。	32.2 (21.7)	47.5 (63.3)	20.3 (15.0)	
教	(小) 子どもたちは、自分の健康に気をつけて生活している。 (中) 生徒は、眠そうな顔をせず、朝のHRから元気に学校生活をスタートできている。	11.1 (19.0)	61.1 (62.0)	27.8 (19.0)	



学びの機会を保障し質を高める環境の確立

5. 心理的安全性【働きやすい職場】

	質 問 項 目	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
教	(小) 職員室では、自分の考えを発言したり、他の先生に相談したりなど安心して働くことができる。 (中) 職員間での意思疎通、コミュニケーションが取れている。	66.7 (61.9)	33.3 (28.6)	0.0 (9.5)	

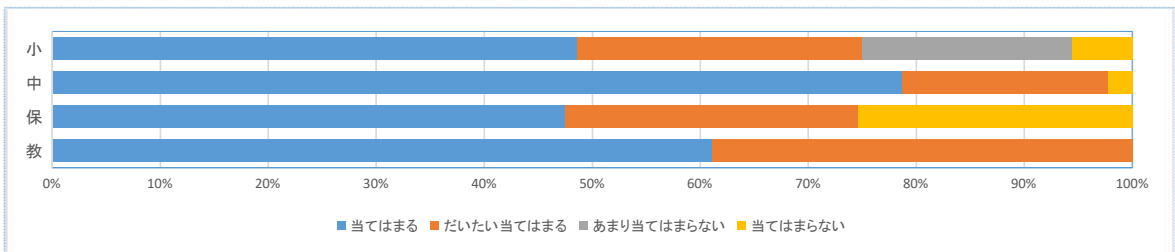


資料提供

家庭・地域と歩む持続可能な教育の実現

8. 家庭学習【家庭や地域との連携】

	質 問 項 目	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
小	かていがくしゅうをわすれずにしている。	48.6 (46.3)	26.4 (31.3)	19.4 (13.4)	5.6 (9.0)
	学校のじゅぎょうの、予習やふく習をしている。				
	学校の授業の予習や復習をしている。				
中	(定期テストはなくなったが) 継続的に家庭学習を行っている。	78.7 (56.3)	19.1 (31.3)	2.2 (12.4)	
保	(小) お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている。 (中) (定期テストはなくなったが) お子様は継続的に家庭学習を行っている。	47.5 (41.7)	27.1 (33.3)	25.4 (25.0)	
教	(小) 子どもたちは、家庭学習にしっかり取り組んでいる。 (中) (定期テストはなくなったが) 生徒は継続的に家庭学習を行っている。	61.1 (42.9)	38.9 (42.9)	0.0 (14.2)	



令和6年度 陸別小学校 2学期の学校評価のまとめ

令和7年2月12日 陸別町立陸別小学校長 小田 浩平

※評価の数値(%)は肯定的な回答率(「4あてはまる」、「3だいたいあてはまる」を選択した人数の割合)を表している。

○ 成果の判断の目安

85%以上:A

75～84%:B

61～74%:C

60%以下:D

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

1. 個別最適な学び【新しい時代に必要となる資質・能力】

	質 問 項 目	前回	今回
低	ともだちといっしょにべんきょうして、わからないことがわかったり、あたらしいことにきづいたりして、べんきょうっておもしろいなおもうことがある。	80%	92%
中	友達の意見を聞いて新しいことに気付いたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思うことがある。	82%	79%
高	友達の意見を聞いて新しいことに気付いたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思うことがある。	75%	80%

グループ学習やペア活動が効果的に行われており、児童同士が自然に意見を交換し合う環境が整い、また課題設定が適切で、話し合いや意見交換を通じて深める余地がある学びが提供されていると考える。8割ほどの児童が学習の面白さを感じている点は評価できるポイントだと思う。引き続き質の高い授業を目指していきたい。

2. 協働的な学び【新しい時代に必要となる資質・能力】

	質 問 項 目	前回	今回
低	がっこうのじゅぎょうでは、たくさんはっぴょうしている。	60%	77%
中	クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を活発に発言している。	86%	91%
高	クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言している。	54%	68%
保	お子様は、自分の意見や考えを人に積極的に伝えている。	64%	73%
教	子どもたちは、クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言している。	75%	71%

前回に比べ数値としては上昇している。項目1とも関連はあるが、児童同士の信頼関係が強化され、意見を発表することへの不安が軽減されていることや教師が一方的に教える授業ではなく、対話型・参加型の授業が実践されていることが理由として考えられる。

3. 自己肯定感【豊かな人間性】

	質 問 項 目	前回	今回
低	べんきょうやうんどう、ならいごとなどで、じまんでできるとくいなことがある。	73%	92%
中	自分のいいところを、いくつか言える。	61%	68%
高	自分にはいいところがあると思う。	79%	80%
保	お子様には、いいところや得意なところがあると思う。	100%	100%
教	子どもたちはそれぞれ、自分のいいところや得意なことをもっていると思う。	100%	86%

前回に比べ児童の自己肯定感が高まりが結果から読み取れる。自己の良さに気付き、自信をもって学校生活を送ることができるよう、授業、休み時間、行事や児童会活動などあらゆる場面において子どもに寄り添い、よさや頑張りを認めるプラスの声掛けやサポートを行い、自己有用感を高める働きかけを全職員で行っていく。

4. 挨拶【豊かな人間性】

	質 問 項 目	前回	今回
低	「おはようございます」、「こんにちは」をきんじょの人にいつている。	80%	85%
中	近所の人に会ったときは、あいさつをしている。	96%	97%
高	近所の人に会ったときは、あいさつをしている。	96%	96%
保	お子様は、家族や近所の人に、しっかり挨拶している。	76%	77%
教	子どもたちは、挨拶をしっかりしている。	75%	71%

朝の挨拶などは元気に挨拶ができていますが、自分から進んで挨拶できるという部分が課題になっていると思われるので、挨拶することの大切さ等を日頃の授業の中や過ごし方の中で改めて指導していきたい。

5. 感謝【豊かな人間性】

	質 問 項 目	前回	今回
低	「ありがとう」、「ごめんなさい」をじぶんからすすんでいつている。	87%	92%
中	「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から進んで言っている。	96%	100%
高	「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から進んで言っている。	96%	88%
保	お子様は、「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から進んで言っている。	68%	81%
教	子どもたちは、「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から進んで言っている。	75%	57%

結果から、教員に対してや教員の指導下での感謝や謝罪の気持ちを自主的に表すことができていないと推察できる。形式的な感謝や謝罪の言葉ではなく、誰に対しても素直に感謝の気持ちを表すことの大切さについて日頃の授業や過ごし方の中で指導していきたい。してもらったことが当たり前ではなく、有難いことであることの意識付けを行いたい。

6. ヘルスリテラシー【健康でたくましい体】

	質 問 項 目	前回	今回
低	はやねはやおき、すききらいにきをつけている。	80%	92%
中	早ね早起きや好ききらいにきをつけて生活している。	93%	88%
高	食事やすいみんなど、生活のリズムにきをつけて生活している。	75%	80%
保	お子様は、食事や睡眠など、自ら進んで健康にきをつけて生活している。	72%	62%
教	子どもたちは、自分の健康にきをつけて生活している。	63%	57%

児童の自己評価が保護者や教員の評価よりも高い傾向にあり、認識に差が生まれている。なにを持って「健康」と言えるのか「健康観」のすり合わせを行い、「健康である」ということのゴールがどのようなものであるか一致させていく必要がある。そのため、心身共に健康に過ごすための指導を日常的に指導していく必要がある。また、家庭との協力が必要不可欠のため、家庭での指導でも役立つような情報を食育や保健だより等で情報発信し、適宜協力をお願いしていく。

学びの機会を保障し質を高める環境の確立

7. 相談【安心して過ごせる居場所】

	質 問 項 目	前回	今回
低	かなしいことやこまったことがあったとき、せんせいにいはなしできる。	80%	85%
中	つらいことや、こまったことを、学校の先生に相談できる。	75%	62%
高	本当につらいことがあったとき、それを学校の先生に相談できる。	38%	40%

学年が上がるにつれて先生に相談しにくいと感じている傾向がある。年齢や成長に伴う心理的な変化から、中学年では、友達との関係がより重視されること、高学年になると思春期に入り、相談することの恥ずかしさが芽生えることもある。結果から学年に応じた相談環境の整備と児童の心理的ハードルを下げるための工夫が必要であると考え。日常的な声掛けを全職員で行い、どの先生に相談してもよい環境づくりを進めていく。

8. 心理的安全性【働きやすい職場】

	質 問 項 目	前回	今回
教	職員室では、自分の考えを発言したり、他の先生に相談したりなど安心して働くことができている。	100%	100%

学年団や分掌など、みんなで協力し合いながら、わからないことは相談し合いながら業務を進めることができていると感じる。今後も職員の強みを生かしながら、協力、分担して業務推進にあたれるようにしていきたい。

9. 校務効率化【働きやすい職場】

	質 問 項 目	前回	今回
教	ICT等を活用し、校務が効率的に推進されている。	100%	100%
授業での効果的なICTの活用やスプレッドシート等での情報共有、生成AIの活用などによってペーパーレス化や時間短縮が進み、効率的な校務推進につながっている。今後もさらに効率化を図る場面を模索しながら改善できることから取り組んでいく。			

10. 教員の主体的な学び【働きやすい職場】

	質 問 項 目	前回	今回
教	校内外の研修に、主体的に参加している。	100%	71%
先生方も積極的に小中一貫研究主題に沿った授業研究や授業実践を行い、研修講座等へも参加している。今後も先生方の主体的な学びに期待する。研修部として、還流報告ができる場づくりを行っていきたい。			

家庭・地域と歩む持続可能な教育の実現

11. 家庭学習【家庭や地域との連携】

	質 問 項 目	前回	今回
低	かていがくしゅうをわすれずにしている。	83%	92%
中	学校のじゅぎょうの、予習やふく習をしている。	71%	88%
高	学校の授業の予習や復習をしている。	79%	48%
保	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている。	64%	62%
教	子どもたちは、家庭学習にしっかり取り組んでいる。	88%	100%
高学年で数値が下がっている。どう取り組めばよいかわからない児童へのサポートや具体的な取組方法を再度確認するなど自分から主体的に家庭学習に取り組めるように働きかけ、今それを広く保護者に周知し、協力を求め、学校・家庭の両輪で取り組んでいけるようにしていきたい。			

12. 地域との連携【ふるさと陸別への愛着】

	質 問 項 目	前回	今回
低	おまつりやイベントなど、ちいきのぎょうじによくさんかしている。	87%	92%
中	お祭りやイベントなど、地いきの行事によくさんかしている。	86%	85%
高	お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加している。	88%	88%
保	お子様は、地域の行事やイベントによく参加している。	88%	85%
非常に高い数値が続いていることから陸別小の強みであると考え。地域と連携し、「りくべつ学」を通してふるさと陸別への愛着を育んでいくとともに、児童の主体的な学びへとつなげる意識付けを図っていきたい。			

目指す学校像

13. 学校改善への努力

	質 問 項 目	前回	今回
低	じぶんが「しゅじんこう」としてかつやくできたことがある。	60%	54%
中	自分が「主人公」として活やくできたことがある。	50%	38%
高	自分が「主人公」として活やくできたことがある。	38%	44%
教	子どもたちが「主人公」として活躍できたと思う。	88%	86%

数値は前回とほぼ同様の結果となってしまったが、前回に比べ特別な場面だけでなく、学習場面で活躍できたと記載している児童もいることから児童が主体となった場を設定することや良かったこと、がんばったこと、活躍したことを児童にフィードバックすることなど、児童が達成感を感じられるような働きかけが必要だと考える。

どのようなことでかつやくできたか(記述式)

【低学年】

- ・サッカーやスケート ・りくしょう祭り(3人) ・宿題をがんばれたから ・運動会やマラソン記録会

【中学年】

- ・喧嘩を止めた時。・運動と勉強の発言。・意見が言えた。・班で話し合う時主人公として活躍できた。・話し合い活動(ほか3名)・友達を助けたりする。・テストで100点を取れた時に主人公だと思う。・授業でアイデアをだしたところ。・りくしょう祭りの準備で、みんなと協力してたから。

【高学年】

- ・野球。・試合で勝てた。・サッカーで逆転ゴールを決めた時。・サッカーでキーパーが抜かれたけどスライディングしてシュートを止めた時。・話が進まない時とかに喋る。・学習発表会で自分の役で表現したり笑わしたりした。・体育の授業・司会になった時。・いつもの学校生活。・店長とし活躍できた。

【教職員】

- ・縦割り遊びや委員会で中心となって活動する姿や、授業中に自分の考えを積極的に伝える姿。・勉強が得意な人、運動が得意な人、手伝いが得意な人など様々な場面で一人一人が活躍していた。・授業の主語が自分になるように行っている。・学年、グループ、縦割り班など、自分たちが進めていく意識をもって行動しているから。・授業や行事などで、子どもたちが主体的に取り組んでいる様子が印象的だった。・行事や児童会活動など自分らしく活躍している場面をよく見かけます。学校生活や授業の場面でも「いいね！すごいね！がんばったね！」と思える子どもたちの姿を見るたび、些細なことかもしれませんが主人公として活躍していると感じます。

【※活躍できていないと思う理由】

- ・行事の規模縮小・働き方改革等で、子どもたちの意見や意向が最も反映されたとはいえずらいから。

令和6年1月28日

陸別中学校保護者 各位

陸別町立陸別中学校
校長 伊澤理紀

令和6年度 学校評価アンケート結果(後期)を生かした今後の学校運営について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

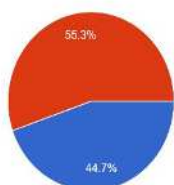
さて、今年度実施いたしました第2回目の学校評価アンケートの結果について比較分析を行い、まとめましたのでお知らせいたします。

今年度2回目のアンケート結果の考察・分析については、1回目を含め、課題が見られる部分につきましては、改善に向けて今年度の残りの学校生活や次年度に向けてさらなる取組を学校全体で行って参ります。今後とも、ご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(学校教育目標)

1. ものごとを行うときに、自分で考えて行動していますか？

47 件の回答

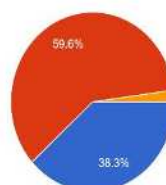


● している
● 時々している
● していない

生徒

3. 人に嫌な思いをさせないように、発言や行動に気をつけていますか？

47 件の回答

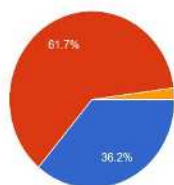


● つねに気をつけている
● 時々気をつけている
● 気をつけていない

生徒

2. 日々の活動の中で、新しいことや難しい事に挑戦することがありましたか？

47 件の回答



● とてもあった
● 時々あった
● ない

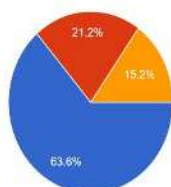
生徒

アンケートの数値からは、生徒たちの主体的に取り組む姿勢【自立】・チャレンジする気持ち【挑戦】・思いやりを持った言動【友愛】を意識し学校生活を過ごせていると考えられます。

(学習への取組)

1. お子様は継続的に家庭学習を行っていますか？

33 件の回答

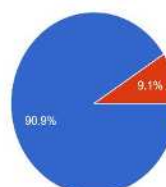


● ほぼ毎日 (週5日以上)
● 週3~4日
● ほとんどしていない (週0~2日)

保護者

1. 生徒【担当学年】は継続的に家庭学習を行っていますか？

11 件の回答

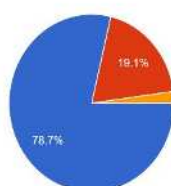


● ほぼ毎日 (週5日以上)
● 週3~4日
● ほとんどしていない (週0~2日)

教職員

4. 皆さんは、継続的に家庭学習を行っていますか？

47 件の回答



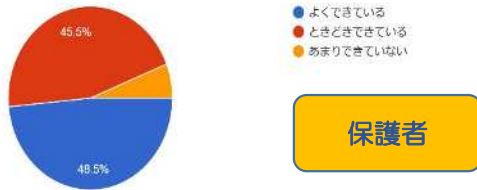
● ほぼ毎日 (週5日以上)
● 週3~4日
● ほとんどしていない (週0~2日)

生徒

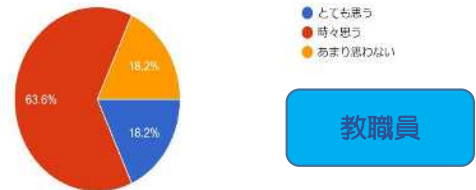
週3~4日以上の数値がそれぞれで高い数値となっており、家庭学習の継続した取組が高まっていると思います。

(生活習慣)

2. お子様は、食事や睡眠など、健康に気をつけて生活していますか？
33 件の回答



2. 生徒は、眠そうな顔をせず、朝のHRから元気に学校生活をスタートできていますか？
11 件の回答



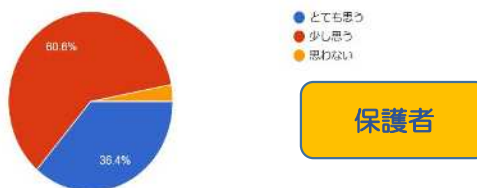
5. 食事や睡眠など、健康に気をつけて生活していますか？
47 件の回答



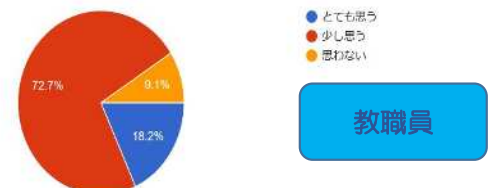
生活習慣は、学習、生活、人間関係の基本となる重要な部分です。これからも、家庭と学校で協力し、生徒の生活習慣向上に努めてまいります。

(豊かな学び)

3. お子様は自己肯定感を十分にもっていますか？
33 件の回答



3. 子どもたちは、自己肯定感を十分にもっていますか？
11 件の回答



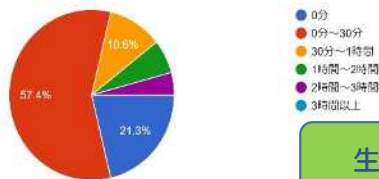
6. 自分にはいいところや得意なところがあると思いますか？
47 件の回答



生徒自らが自己の良さに気づき、自信をもって学校生活を送ることができていると考えられます。今後も、生徒一人一人の良さを認める取組や、生徒に寄り添う教育活動に努めてまいります。

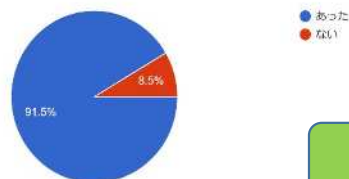
(タブレットを生かした学習)

7. 帰宅後の家庭学習で、学校から持ち帰ったタブレットの使用時間はどのくらいですか？
47件の回答



生徒

8. タブレットを活用した授業で、わかりやすい・効果的であるなど良いところがありましたか？
47件の回答

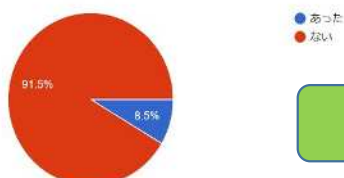


生徒

【あった】と答えた人は具体的に記述をして下さいについて。(43件の回答)

- ・インターネットの活用などの利便性など。27件
- ・ロイノートなどでの意見交流や学習課題の利用など。8件
- ・提示される画像や資料の見やすさなど。5件
- ・授業が分かりやすいなど。3件

9. タブレットを活用した授業で、わかりづらい・効果的ではないところがありましたか？
47件の回答

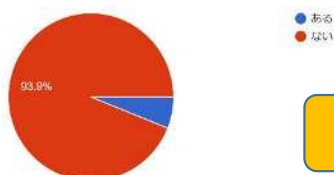


生徒

【あった】と答えた人は具体的に記述をして下さいについて。2件の回答

- ・操作の仕方がわからない。
- ・作業が難しい。

4. 学校から貸し出ししているタブレットの管理(家庭)で困っていることはありますか？
33件の回答

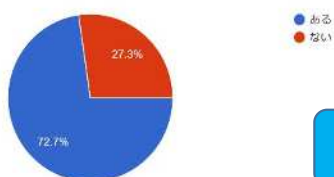


保護者

【あった】と答えた人は具体的に記述をして下さいについて。2件の回答

- ・長時間利用(夜中含め)になる。
- ・視力への影響。
- ・使用ルール(サイト利用など)についての確認。

4. 生徒のタブレットの活用について、見直しが必要なことはありますか？
11件の回答



教職員

【あった】と答えた人は具体的に記述をして下さいについて。8件の回答

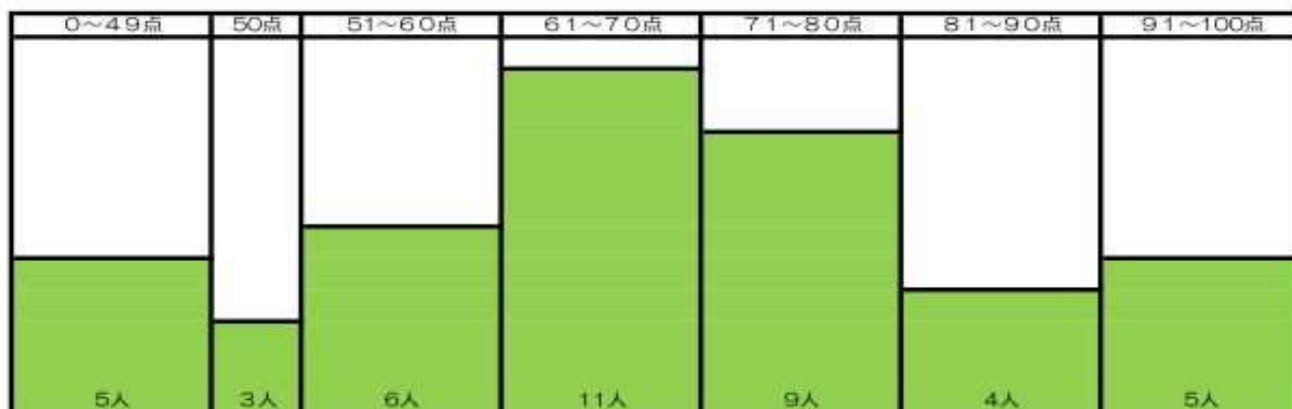
- ・使用時間やチャット連絡の仕方などのルールの見直しについて。6件
- ・規則、メディアリテラシーの学習など見直。
- ・小中でのタブレットのルール共有

タブレットは授業及び家庭学習でも多く活用しています。また、学習活動において効果的であることもアンケートから分かります。今後も継続した活用を推進し、適切な利用が出来るようルールの徹底・ルールの見直しを図り、継続して活用してまいります。

(目指す学校像)

生徒

あなたにとって、誰もが通いたい学校、楽しい学校生活を考えた時、2学期の学校生活は100点満点中何点ですか、点数で記入してください【生徒】



教職員

あなたにとって、誰もが通いたい学校、楽しい学校生活を考えた時、2学期の学校生活は100点満点中何点ですか、点数で記入してください【教職員】



全体的には50点を超える数値が多く、多くの生徒が2学期において、楽しい学校生活を過ごせていたと思います。ただし、0～49点のどちらかという楽しい学校生活とは感じなかった生徒がいますので、生徒一人一人の達成感や、やりがいを更に感じられるよう工夫改善を行い、今後とも取り組んでまいります。

何か気づいたことや学校をよりよいものにするための意見があれば書いてください。

(生徒) 5件の回答

学習面等 2件

- ・学力テスト以外のテストを無くしてほしい。
- ・2学期はテストが多い時期なので、朝学習を増やしていただきたい。

- ・定期テストの廃止により、単元テストなどで皆さんの学習状況の確認・学び直し・学習内容の定着・家庭学習の習慣化・評価等を行っています。実施回数については今後検討をしていきます。
- ・テストに向けての朝学習の取り組み方は読書の時間の調整などを行い検討していきます。

行事・レク面等 2件

- ・行事やレクを増やして他学年との関わりを深めたい。みんなともっと関わったほうが良い。

- ・生徒会主催のレクなど、皆さんが主体となって進めている行事やレクなどもあるので、より一層関わり、結びつきが強まるようサポートしていきます。

生活面等 1件

- ・少し度が過ぎたことをしている人たちや季節に合った服装をしていない人がいる。

- ・集団生活の場で、皆さん一人一人が快適で、生活しやすい環境作りを意識していきましょう。

お気づきのことや学校をよりよいものにするためのご意見があればお書きください。について

(保護者) 5件の回答

学校生活等

- ・いつも子供達の事を第一に考えて行動して下さり、本当にありがたい気持ちです。いつもありがとうございます 2件
- ・学年を比べての発言などをやめてほしい。
- ・半袖短パンの指定をなくしてほしい。
- ・成績についてプレッシャーがかかる過度な指導はやめてほしい。

生徒への指導の発言には注意を払って行っていますが、生徒の成長を促す言葉かけを行ってまいります。ただ、生徒の気持ちも考え発言等に注意を払って対応してまいります。

組織等

- ・毎年担任を変えてほしい。

学級担任については、生徒との関係を良好に保ち、複数の目を持って生徒を見守るなど、今年度からチーム担任制を導入していますので、学年団の教諭が全員担任であります。

アンケート等

・グーグルフォームが回答しづらく、たくさん書きたいことがあるが回答しづらいので直接お話ししたいと思います。

WEB による回答はペーパーレス化や集約の効率化などの面もあるのでご理解を頂ければ幸いです。また、案内にも用紙の希望の記載もさせていただいておりますので、ご連絡いただければ用紙の配付もできます。

なお、直接のお話も、いつでもご連絡いただければと思います。宜しくお願い致します。